



2022年4月15日

各 位

会 社 名 株式会社ユーザベース
代表者名 代表取締役社長Co-CEO兼CTO 稲垣 裕介
代表取締役社長Co-CEO 佐久間 衡
(コード：3966、東証グロース)
問合せ先 執行役員CFO 千葉 大輔
(TEL：IR専用問い合わせ窓口03-4533-1999)

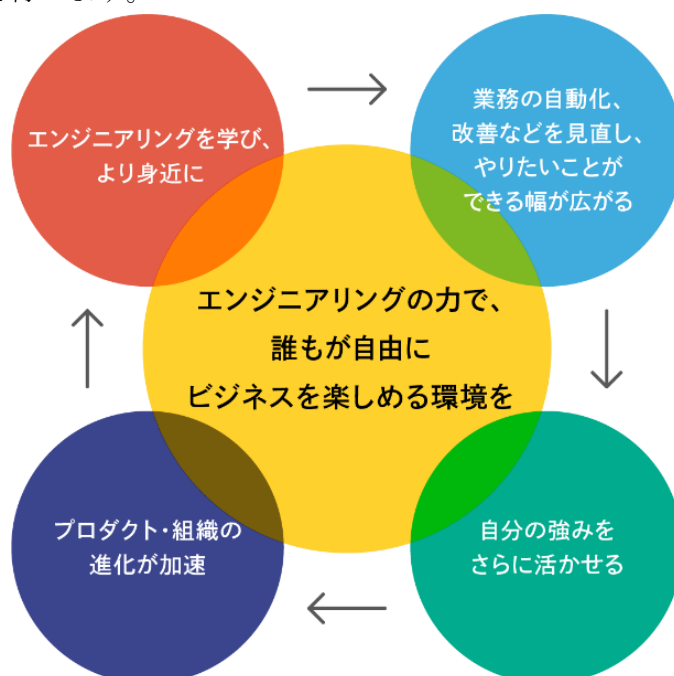
代表取締役Co-CEO稲垣裕介のCTO兼任に伴う テクノロジー・カンパニーの推進に向けたプロジェクト開始のお知らせ

当社は、エンジニアとして当社を創業したメンバーの一人であり、現Co-CEOとしてチーム経営を牽引している代表取締役Co-CEOの稲垣裕介が、4月15日から現職と兼務する形で当社グループのCTOに就任したことをお知らせいたします。就任に伴い、当社らしいテクノロジー・カンパニーを推進するため「Play Engineering」（以下、「本プロジェクト」といいます。）を掲げたプロジェクトを始動し、第1弾として、「エンジニアリング支援制度」を導入することをお知らせいたします。

記

1. 本プロジェクトについて

誰もがエンジニアリングを楽しめる世界の実現に向け、エンジニアとエンジニアではない多様な職種のメンバーたちが、これまで以上にエンジニアリングを活かすことを支援する制度・仕組みづくりを行います。



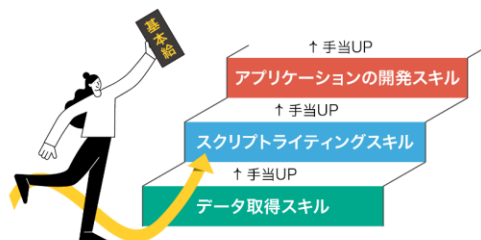
2. エンジニアリング支援制度について

プロジェクト第1弾として、「エンジニアリングを全メンバーに」という想いを込めた、エンジニアリング支援制度をスタートいたします。この制度に続く第2弾以降の施策は、詳細を決定次第お知らせいたします。

制度①

プラスエンジニアリング手当

保有するエンジニアリングスキルのレベルによって、給与にプラスして手当が支給される制度です。2022年7月適用予定。
手当の金額は必要に応じて随時見直すことを検討いたします。
(原則1年毎にレビュー)



制度②

楽しく、実践的に学ぶエンジニアリング研修

ユーザベースグループの Fellow, CTO の役員メンバー監修による、エンジニアリング未経験のメンバーが楽しみながらエンジニアリングを学べる研修プログラムを企画・実施いたします。



研修プログラムパッケージ イメージ

- ・初心者さんでも大丈夫。易しいプログラミング教室
- ・非エンジニア向けSQL講座
- ・子どもと一緒に学ぼう。
猫が動くゲーム開発ワークショップ
and more...



制度③

よりクリエイティブに働く

ノーコード&RPAの生産性向上大会

メンバーがお祭り感覚に楽しみながら、業務改善ツールを活用し、よりクリエイティブな仕事に集中する知見を共有・議論できる場を提供します。



3. 代表取締役Co-CEO兼CTO稲垣 裕介からのメッセージ (CTO就任とPlay Engineeringに込めた想い)

誰もがエンジニアリングを楽しみ、自由に楽しく挑戦できる世界を目指したい。

今まで膨大な手作業で苦勞していた業務を、ボタン1つで実行できる。アイデアや発想を、カタチにしていつでもどこでも利用できる。自分にしかできない仕事で個性を発揮し、楽しく働くことができる。「エンジニアリング」の日々の活用こそが、この世界を実現できると信じています。

そして、私たちのパーパス「経済情報の力で、誰もがビジネスを楽しめる世界をつくる」をリードしていく大切な存在です。

一方で、エンジニアリングのニーズが高まれば高まるほど、エンジニアの人員不足が深刻化しています。小中学校でもプログラミング教育の必修化が段階的に進み、プログラミング研修が企業でも強化され、今から10年後には、全てのビジネスパーソンに求められるエンジニアリングスキルの基準値が高まるといわれています。

私たちは、これらの社会・働き方の変化を大きなチャンスだと捉えています。

2008年の創業当時から人とテクノロジーの力を組み合わせて、チームみんなの強みを引き出し合い、経済情報インフラを創造してきました。ビジネスパーソンを労働集約的な作業から解放し、創造性高く付加価値のある仕事にシフトできる働き方に変えていく。

それはユーザーのみならず、私たち自身も体現しつづけた世界です。

課題があった時、身近にエンジニアリングがあり、その力を活用した最適な解決策を考えられる。

エンジニアではない様々な職種のメンバーは、身の回りの業務の自動化・効率化、SQLでデータを取得する、スクリプトで処理を流すことが当たり前ででき、未来を見据えた挑戦に情熱を注げられる。

エンジニアは、組織全体で技術的知見をもったメンバーが増えることで、より高付加価値な土台のシステムの導入や、サービス開発のプログラミングに没頭できる。

エンジニアリングには、みんなが本来挑戦したいことに本気で取り組める余白をつくる力があります。

エンジニアリングには、エンジニアリングには、みんなが「やりたいことへ挑戦できる」余白を生み出す力があります。

だからこそ、全てのメンバーにエンジニアリングを。

みんながこの力を活用できる土台を作り、強い意思をもって人の個性とチームの可能性を最大化していきます。

エンジニアリングを起点に、誰もがビジネスを楽しめる世界を実現する。

私たちは、そんなテクノロジー・カンパニーでありつづけたと考えています。

今日からテクノロジー・カンパニーとしての新たな挑戦が始まります。ぜひPlay Engineeringの取り組みについてご覧ください。

Play Engineering 特設サイト：

<https://tech.uzabase.com/play-engineering>

4. 今後の見通し

本件による今期業績に与える影響は軽微であります。今後、業績への重大な影響が認められる場合には速やかにお知らせいたします。